

第24回日本健康体力栄養学会大会 出展とアンケート結果

協議会では今般、日本健康体力栄養学会大会に初出展いたしました。

本学会は、「体力栄養の知識と技術の進歩・普及発展のために、体力と栄養の関係を研究・研修し、その成果を健康を目指した運動及び栄養の実践活動に応用し、国民の健康増進及び成人病の一次予防に貢献する」の趣旨にて設立されており、高齢者から若年者まで幅広い層をその調査・研究の対象としています。

今回の学術大会は「超高齢社会における健康寿命の延伸～予防からケアまで～」をメインタイトルに、「超高齢社会の現状と問題点」、「地域包括ケアの概要」、「健康寿命延伸のための予防からケアまで」といった講演やシンポジウムが開催されました。

このタイトルから、協議会としてはユニバーサルデザインフード(UDF)の啓発に適しているとし、企業展示に出展しました。

会期：平成29年3月11日(土)

会場：大妻女子大学千代田キャンパス

今回の出展内容は、UDFパンフレットおよびメディケアフーズ展でも紹介した「UDFで作る行事食(花見弁当)」資料の配布、会員各社が協賛したUDF製品のサンプリングを行いました。また、同時にUDFの認知度調査も行いましたのでこの結果を以下に紹介します。

■来場属性

管理栄養士・栄養士41%、歯科医師、リハビリ職(ST, PT, OT)各3%、学生24%、その他29%管理栄養士・栄養士が最も多い結果となりました。その他は薬剤師、スポーツ科学等の大学教員・研究員が含まれました。

■UDF認知度

UDFを知っている35%、名前は知っている32%、初めて知った32%

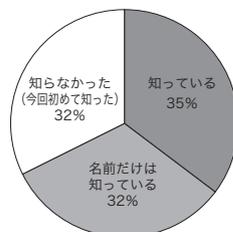
「名前は知っている」まで含めると67%が「知っている」結果となりました。

また、「UDFロゴマーク」の認知度は44%が「見たことがある」、56%が「ない」と回答しており、実際の目に触れての認知率が「名前は知っている」に比べて低い結果となりました。

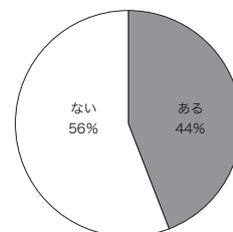
来場者属性によるクロス集計では、管理栄養士・

栄養士では86%が「知っている」と回答しており、同職種の認知度の高さがうかがえますが、その他の職種では「知っている」は皆無であり、これら職種も含めさらなる啓発の必要性を痛感しました。

協議会では今後もこのような活動を通じてユニバーサルデザインフードの普及を進めてまいります。



ユニバーサルデザインフード(UDF)とは何かご存知ですか？



ユニバーサルデザインフード(UDF)のロゴマークを見たことはありますか？

【会議、催事等の予定】

6月1日(木)第1回技術委員会(オリンピックイン神田会議室)

6月19日(月)平成28年度監査会(缶詰協会会議室)

6月20日(火)第1回普及委員会(TKP神田駅前会議室)

6月29日(木)UDF調査報告会(エッサム神田ホール会議室)

【UDF商品登録状況(1,856品目・4月末現在)】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	1	12	0	85	98
冷凍食品	281	232	640	27	0	1,180
常温食品	122	147	199	109	1	578
合計	403	380	851	136	86	1,856

【会員の異動(4月)】

計71社(4月末現在)。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集していません。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>